

2014年11月28日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

田辺三菱製薬工場株式会社鹿島工場譲渡に関する最終契約書締結のお知らせ

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之、以下「当社」）は、本年6月30日に当社連結子会社である田辺三菱製薬工場株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：藏岡 悟、以下、「田辺三菱製薬工場」）の鹿島工場を2015年4月1日に沢井製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：澤井 光郎、以下「沢井製薬」）へ譲渡することに基本合意しておりましたが、本日、沢井製薬との間で最終契約書を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 譲渡の目的

当社は、急速に変化する事業環境に対応し、持続的な成長を実現するため、「中期経営計画11-15～New Value Creation」の重点課題である「事業・構造改革の加速化」に積極的に取り組んでおります。生産機能においても、製造拠点の集約や再編を図り、グローバルレベルの新薬供給体制の整備と環境変化に強い柔軟で効率的な生産体制を構築するため、国内5つの製造拠点を2拠点到集約する方針であることを昨年8月に公表しております。

この一環として、本年4月の足利工場譲渡に続き、鹿島工場についても他社に譲り渡すことで現地での雇用を守ると共に、その高い技術力と生産能力等を活かすことが同工場の発展につながるとの結論に至り、6月末に沢井製薬と基本合意し、このたび同社と最終合意しました。

沢井製薬は、ジェネリック医薬品のリーディングカンパニーで中期計画において「生産能力増強による高品質な製品の安定供給体制強化」を重点方針として掲げております。この中核施策として本譲渡を位置付けており、鹿島工場は生産能力の増強と共に高い技術力と高度な品質管理水準の発揮等の貢献が期待されております。

一方、当社の今後の国内生産体制については、集約拠点である小野田工場、吉富工場の新棟建設等の設備増強を進め、大阪工場の閉鎖を経て2017年度末までに2拠点体制化を図り、より環境変化に強い柔軟で効率的な生産供給体制を構築していきます。

2. 譲渡の方法

2015年4月1日付（予定）で、田辺三菱製薬工場が会社分割により鹿島工場に係る医薬品製造事業を沢井製薬に譲渡します。

なお、鹿島工場の従業員は本人の同意のもと沢井製薬へ転籍する予定であり、同社での雇用は継続されます。また、鹿島工場譲渡後も引き続き当社製品の製造を沢井製薬に委託予定です。

3. 当事会社および鹿島工場の概要

○田辺三菱製薬工場株式会社

本 社：大阪市中央区北浜二丁目6番18号

代 表 者：代表取締役社長 藏岡 悟

資 本 金：11億30百万円（2014年3月31日現在）

売 上 高：472億円（2014年3月期）

事業内容：医薬品の製造、売買および輸出入

従業員数：1,394名（2014年3月31日現在）

製造拠点：鹿島工場 （以下参照）

大阪工場 大阪府大阪市淀川区加島三丁目16番89号

小野田工場 山口県山陽小野田市大字小野田7473番地2

吉富工場 福岡県築上郡吉富町大字小祝955番地

○田辺三菱製薬工場株式会社鹿島工場

所 在 地：茨城県神栖市砂山14番地1

工 場 長：和田 晃

従業員数：258名（2014年3月31日現在）

生産実績：錠剤 約2.3億錠、散・顆粒 約33トン、注射剤 約170万本（2014年3月期）

○沢井製薬株式会社

本 社：大阪市淀川区宮原五丁目2番30号

代 表 者：代表取締役社長 澤井 光郎

資 本 金：271億円（2014年3月31日現在）

売 上 高：898億円（連結ベース、2014年3月期）

事業内容：医薬品の製造販売及び輸出入

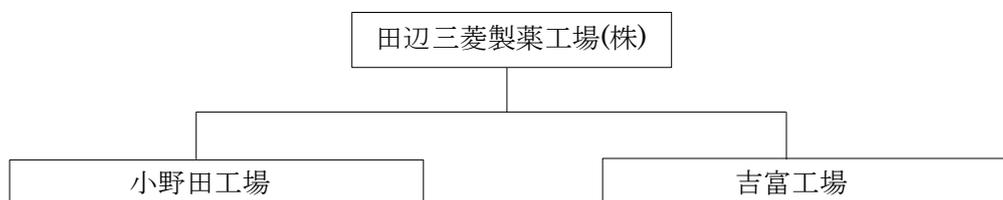
従業員数：1,121名（連結ベース、2014年3月31日現在）

4. 国内製造拠点再構築の概要

< 「中期経営計画 11-15」スタート時点 >



< 2018年4月時点 (予定) >



以 上

◀ 本件に関するお問い合わせ先 ▶

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6205-5211 (本社)

TEL : 03-6748-7664 (東京本社)